

パブリックコメントの結果と対応

番号	該当頁	意見	対応
1	P78、 79	<p>高知県地球温暖化防止活動推進員(以下推進員)について 現在活動している推進員の陣容は県民人口から見て非常に少ない。又県内で推進員の認知度が無く、活動面でも多くの課題や問題点があります。現在45名の推進員のうち28年度のイベント、出前授業や学習会、毎月の定例会議(CO2CO2サロン) 研修や出展準備会議等何らかの活動に年12回以上(月1回以上)従事した推進員は12名いますがそれは全体の26%に過ぎない。一年間参加活動が全くなかった推進員が22名存在し全体の半数を占めている。その原因として次のような事があげられる。</p> <p>① 活動をすれば経費がかかる。最初はボランティア精神を発揮して活動した推進員も活動費が課さんでゆくと活動しなくなる。 ② 本制度発足して10年経過するが現在も推進員は減っており県からの事業もほとんどない。推進員の活動する場がない。 ③ 県から温暖化防止センターへの推進員に対する予算も補助もない。 ④ 県は推進員として個人委嘱するだけに終わり推進員の教育や育成など積極的な活動支援がない。現在も推進員個人のスキルに依存している。 ⑤ 温暖化防止センターは主に行政の補助金から推進員への謝礼金を捻出しているようだが活動費の予算化も出来ない。温暖化防止センターは今後の方針として地球温暖化について啓発・学習する機会の拡大が計れない現状である。 ⑥ 小中学校の出前授業で効率的な省エネ対策を指導したりアドバイスをしてもエコ・アクションがその後継続しているのかわからない。出前授業がやりっぱなしで終わっている。1年後のフォローが必要です。 ⑦ 推進員は県の中部・東部・西部と分けて組織化しグループとして活動できるよう従来の個人委嘱制度を見直す必要がある。 今後も地域や家庭での省エネ対策など環境学習で県民の最前線に立つのが地球温暖化防止活動推進員です。推進員の活動支援は具体的に「目に見える支援」を要望します。その為に県の現状と課題における具体的施策の中の重点項目に加えて頂きますようお願いいたします。</p>	<p>地球温暖化防止活動推進員について、様々なご意見をいただきましたが、多くは高知県地球温暖化対策実行計画の内容というよりは、推進員活動の充実等に向けたご意見だと考えております。 こうしたご意見をいただいたことを踏まえ、県では、推進員の活動支援を主な業務としている高知県温暖化防止活動推進センターとも協議しながら、推進員の意見を広く聴いたうえで、今後の具体的支援内容を検討してまいります。</p> <p>推進員活動への支援を計画の重点施策と位置づけるかどうかにつきましても、ご意見をうかがったうえで判断したいと考えております。</p>
2	P78、 79	<p>1. 予算がなぜつかないのか 推進員が会費を出して運営している。推進員が増えないし減っている。このままでは解散か？他県ではどうか？ 2. 研修の場を作ってほしい⇒研修を受けスキルを上げて温暖化防止に努めたい。 3. 学校で子供達に教えてほしい。先生達も学んでほしい。</p>	
3	P78、 79	<p>1. 79ページに具体的施策がでていますが、5W1Hを折り込まなければ、具体的な実行計画としては弱いのでは？ 案 市民(県民)と行政(高知県地球温暖化対策実行計画の普及啓発や学習機会の充実・強化と県民運動の推進)をつなぐ手立てとして「高知県地球温暖化推進センター」が中心になって、具体的な実行計画を立案、展開、推進を計る。 2. 太陽熱(温水器)のさらなる普及、雨水の再利用、防災対策も兼ねた市街地での「生垣」の促進と支援。 3. 「高知県地球温暖化対策実行計画」案作成の場への公募委員(2名)と高知県地球温暖化防止推進員(2名)の参加を希望。</p>	

番号	該当頁	意見	対応
4	P78、79	<p>地球温暖化防止活動推進員等による地球温暖化問題に関する地域の環境学習の推進についての意見</p> <p>私はH27年9月から3年間地球温暖化防止活動推進員に県から委嘱されています。委嘱を受けましたが県の研修は何もありませんでした。私は専門家でもないし、活動のノウハウも分かりません。推進員は個人活動なので組織として存在せず、県下に45人いる推進員がどんな活動しているのかも知らず、情報の共有化や仲間としての横のつながりもできていないというのが現状でした。また、推進員が個別に行っている活動も交通費に始まって、資料代、ワークショップなどの材料費や諸々すべて自前で用意しています。これでは経済的にも負担がかかり過ぎます。これから組織的により広く、大きく活動するために昨年、推進員の会を発足しました。地域や学校の環境学習などのいろいろな事業を組織的に推進員が力を合わせて行っていきたいと考えて研修や会議を重ねています。</p> <p>しかし、県からは委嘱書を手渡されただけで放り投げられている状態です。他県は推進員の活動に予算が下りていると聞きます。すべての活動経費を推進員が賄うのは無理で活動も長続きしません。</p> <p>具体的施策の中に地球温暖化防止活動推進員の活用とありますが、私達は労力の提供はできません。事業として予算を組んで推進員の会に委託して頂くか、地球温暖化防止活動推進員への助成金などの支援を考えてほしいです。そうしないとこのままでは推進員は育たないし、活動も大きく広がらないと思います。</p>	同上
5	P78、79	<p>推進員活動をするにも、私などはエネルギー問題にしても専門家ではなくて、素人ですので、ほうぼうの施設(宿毛のバイオマス工場等)を見学するにも、自費の持ちよりでいかななくてはならず、市内なら良いのですが、軍部は費用が少しかかります。これらの研究費等を少し予算を付けていただけないかと思います。交通費としては、市内は電車代400円(200円×2)位しか出ません。車も遠くまで行けばガソリン代だけでは車の消費代も(修理費)だけでも年間十万円くらいはいりまして、もう少し考えていただきたいのですが。(ボランティアも大変です。)</p>	

番号	該当頁	意見	対応
6	P78、 79	<p>意見:推進員に関する意見を述べさせていただきます。</p> <p>昨年、新規に加入させて頂きまして、推進員の会の皆さんと何ヶ所か活動の機会を頂きました。その中で感じたことは、活動資金の無さや個人任せの知識習得でした。</p> <p>県知事から委嘱を受け、積極的に活動に取り組もうと意気込む意識の高い方々がほとんどと思いますが、40数名いる推進員の中で本当に活動している人は一握りのようです。</p> <p>能動的な方が少なく、受け身の姿勢で言われたらやる人が多いかも知れませんが、推進員全体がまとまっていない感じがします。</p> <p>要因は様々あるようですが、活動資金の無さ、明確なリーダーの不在が組織として動いていない要因と思います。</p> <p>肩書を差上げますからどうぞご自由に、では国家的取り組みであるはずのプロジェクトが稼働しないように思います。</p> <p>目に見えて結果を出しやすいのは、少なからず会への活動資金の提示か必要ではないかと他人事のように言ってしまうのですが、感じました。</p> <p>高知県全体にばらついている推進員を一つにまとめるのは難しいとしても、ある程度のエリアでまとまった組織体をなしてもらい、公的補助を少しだけでも頂ければ活動がやりやすくなるのではないかと思います。</p> <p>また、会の中で時々話題になりますが、知識習得の習慣化が出来ていない。自助努力で学習するしかない、という実態です。もっと、セミナー、講習会を推進員の為に開催できないかと提案しましたが、会として集まり、このような話をするのが精いっぱい状況との回答でした。エンジンとそのエネルギーが足りません。</p> <p>私の知っている地域の〇〇協議会や△△委員・◇◇委員など素人の集まりでも補助金や募金を関係者の研修旅行と称して消費している実態を垣間見ると、既得権益と振興組織の格差は大きいものを感じます。</p> <p>まじめに取り組もうとしている組織にはそれなりの応援が必要ではないのかと感じ、お人よしの声なき声を代弁してみました。</p> <p>失礼な発言も混ぜ込みましたが、非公開とのことなので、入れてみました。失礼しました。</p> <p>以上、とりあえず締め切り間際の駆け込みですが、提出させていただきます。</p>	同上

番号	該当頁	意見	対応
7	P78、 79	<p>温暖化防止活動推進センターの活動について、環境省認定の「環境カウンセラー」、「エコアクション21審査人」の支援を受け活動するという内容を入れてもらえませんか。(環境問題の専門家の活用という意味で) 全体的に総花的です。 ○パブリックコメントを求めても、誰も見ません。(メール、ホームページ) ○環境の杜こうちのメンバーを集めて説明し、意見を求めた方が意見が集まると思います。</p>	<p>P79の④パートナーシップの構築の部分に、「環境カウンセラー」との連携を明記しました。</p>
8	P78、 79	<p>地球温暖化による気候の変化は高知県の一次産業、そして特産品あつての観光産業にも大きな影響を及ぼす。温暖化が社会問題であることを県民が知るために、未来の高知を担う世代と関わる県の教育委員会には、教育現場での環境教育の充実をお願いしたい。 また、bikebizなど自転車利用を促進するための自転車道、インフラ整備もすすめてほしい。 学校などの公共施設の暖房は森林環境税を活用し84(ハチヨン)の森を生かしペレットや薪ストーブにかえていけないだろうか。それぞれ違う個人のライフスタイルに言及はできないが、地産の商品を扱う地元のスーパーやJAなどの利用を呼びかけてはどうだろう。地元のお金が循環する経済のイメージを高知県民みんなで共有していきたい。</p>	<p>地球温暖化問題については、学習指導要領に位置づけられており、学校現場での教育がなされています。 高知県地球温暖化対策実行計画では、地球温暖化問題に関する教育の取組支援を重点課題として取り組むこととしており、学校教育現場での地球温暖化問題の教育の場の充実を図っていきます。 自転車道の整備、学校でのストーブの導入については、関係部局と協議して今後の対策を検討していきます。 地産地消に関しては、これまでも、農業振興部を中心に実施してきておりますので、引き続き取り組んでいきます。</p>
9	P70、 71	<p>太陽熱利用の促進を図って下さい。 高知県は日照時間全国2位の好条件を生かして再生可能エネルギーの目玉として太陽熱利用に本気で取り組んでほしいです。 ・すでに県内老健施設等では、太陽熱利用により入浴等行っているが、推進の為補助金を出したり、大学との連携で開発を進め高知県より全国へ太陽熱利用を発信して欲しい。 ・各個人の家にも補助金を出し、屋根などへの器具設置を推進して欲しいです。</p>	<p>本計画では、太陽熱を含めた再生可能エネルギーの熱利用につきましても利用拡大を推進していくこととしております。 民間事業者や非営利団体等の太陽熱利用設備の導入については、活用できる国の支援制度があり、県内で活用事例もありますので、引き続きこうした制度の周知等により導入を図ってまいります。また、県の支援制度を活用して、県内事業者が太陽光集熱装置の開発を行った事例もあり、引き続き県内事業者によるこうした取組に対しまして状況に応じた支援を行ってまいります。 なお、住宅用太陽光熱利用設備については、技術が確立されて相当長期間経過しており導入が進んでいることや、採算性の高いシステムであることから、改めて県として補助することまでは考えておりませんが、現在普及が進みつつある太陽光発電の導入状況と併せて、今後の状況を見守ってまいります。</p>